

〈ケア〉を考える会 (第120回)

■日時：2018年10月14日(日) 13:30~17:30

■会場：京都市山科区安朱中溝町3-2
山科駅より東 徒歩3~4分の民家
(山添 宅) (安朱保育園 東隣)

■当日の大まかな予定

13:00 ⇒ 有志集合…会場準備等

13:30~ ⇒ 学びの会/対話

15:30頃~ ⇒ 懇親会(笑いヨガ/音楽演奏なども)

17:00~17:30 ⇒ 片付け、終了

(その後で、名残惜しコーヒータイム?)

■内容

(1) 発表と対話

テーマ：**「ケア」から／を問い直す**
：エヴァ・キティ『愛の労働』を起点として

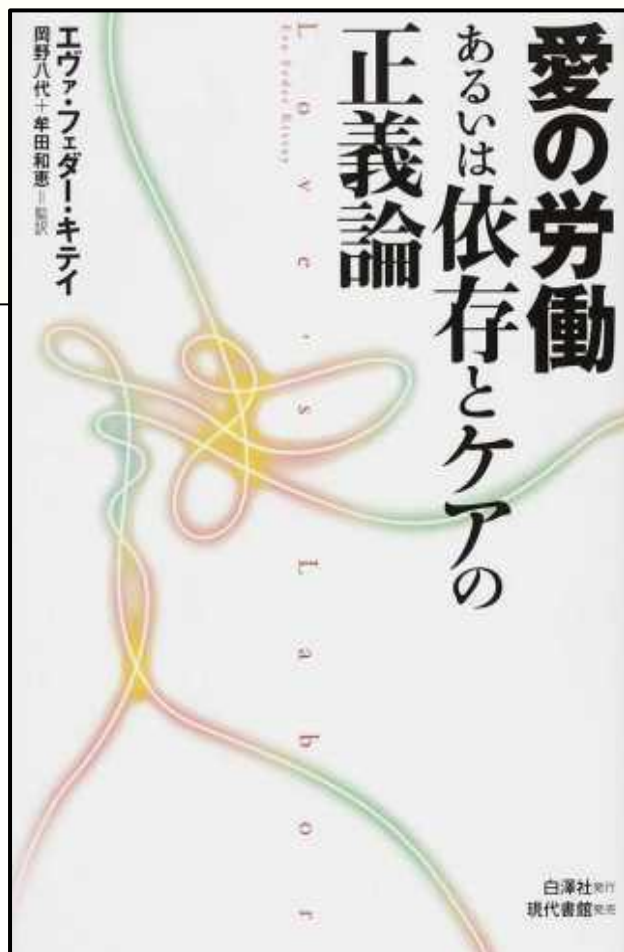
発表者：**小西 真理子 さん** (大阪大学文学研究科講師)

(2) 懇親会……食べながら飲みながら語り合います (持ち込み歓迎)

★懇親会参加者で実費(1000円程度)ご負担願います

★申し込み・問い合わせ⇒ 林まで：michi-care@outlook.jp 090-5366-1497

★どなたでも参加できます(初参加歓迎)。先着20名程度



エヴァ・キティ著『愛の労働あるいは依存とケアの正義論』(2010年、白澤社)を起点として、「ケア」について考えてみたいと思います。みなさまには、もし可能であれば、第6章(できれば+第1章)を読んできていただきたいです。第6章はキティと知的障害のある娘さんとの個人的な語りで、とても読みやすいと思います。もちろん、全部読んでいただいても、読んでこない場合でも対話可能な内容を準備させていただきます。キティの記述を発展させる形で、ケアという視点にはこういった価値があるのか、良いケアとは何か、良いケア像はいかなる重圧を生むのか、ケアにも支配性・暴力性があるのではないかと、といった問いをゆるやかに立てさせていただこうと思っています。みなさまには、ご興味のある問いに対して連想された内容をご自身の視点でお話しいただければ幸いです。もちろん、本を読んでご自身で問いを立てていただいてもありがたいです。(小西)



おたがいの言葉を手がかりに考える時間をもつこと、確かめながらゆっくりと考える時間を共にし、分け合う。「考え」でなく、「考え方」をお互い共有してゆく。

対話には結論はありません。プロセスをゆたかにできなくては。

(長田弘『なつかしい時間』P.191)

「ケア」を考える会」ホームページ
<http://care-kyoto.jimdo.com/>

「ケア」を考える会-岡山
<http://okayama-care.jimdo.com/>